

雨ニモマケズ、風ニモマケズ、コロナニモマケズ  
Sound Recording Project

シャープ昭子, カルガリー大学  
Akiko Sharp, University of Calgary

私のズームデビューは、2020年3月18日（水曜日）。上級のリーディングクラスでした。宮沢賢治の「雨にも負けず」の録音の課題の締め切りがあり、それができているかどうかの確認で「雨にも。。。コロナにも負けず。」と学生たちの大合唱がありました。彼らの元気な声に救われ、ほぼ暗唱するまで練習することになったプロジェクトは遠隔授業の課題としても使えるものだと思います、ご紹介させていただきました。

本発表当日は、72名あまりの方々の参加があり、皆様からご自身のプロジェクトシェアーをしていただきました。ご参加の皆様には具体的に様々なアイデアをご共有いただき、素晴らしいアイデア集ができたことを大変うれしく思っております。また、ご質問にあった「学生同士の意見交換の仕方」や「翻訳アプリの扱い」についての問いかけは、実は対面でも非対面でも課題となる事項ですので、遠隔授業でのデザインをどうするかが最重要課題であった8月ごろの私には次のステップに行くためのきっかけとなりました。

オンライン上では、文学作品の朗読も多くあり、特に宮沢賢治の「雨にも負けず」は、アナウンサー、俳優、個人という枠組みだけではなく、日本語以外の言語や地方弁での録音が素晴らしい映像や音楽とともにたくさん公開されています。この課題は、YouTubeのリンクと短い説明で、学習者は多くを学び、自分で発信してくれます。評価が気になる場所ですが、深呼吸をして、想像力に溢れる学生の作品を楽しみにしていただければと思います。

今回の集まりのように、短時間で効果的な「学び」をもたらす可能性を秘めているオンラインの世界は、私には恐ろしくも魅力的な世界です。「孤独」を生んでしまうこともある遠隔授業ですが、それとは反対に「オンラインコミュニティ」で結束を固めている学生たちが私のすぐ近くにたくさんいます。「コロナにも負けず」。私も元気をもらっていきたいと思います。

#### 参考文献

王伸子・シャープ昭子・善積祐希子（2018）「新しい日本語音声指導法「ボイスサンプルプロジェクト」の教材化とその評価 Proposal of teaching method of using “voice samples” in Japanese classes and the evaluation - 299-306.

『CAJLE2018 大会 Proceedings』

王伸子・シャープ昭子（2019）「日本語クラスにおけるナレーション導入効果の検証—カナダと日本の大学における教室活動 - Verifying the Effect of Using Narration in Japanese Classes – The Report from Canada and Japan – 334-340.

『CAJLE2019 大会 Proceedings』